



森の息吹

No.159 7月号
2019. 7月1日発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

6月の活動 安全講習・植樹祭・山林での刈払い作業

6月2日(日) 野外での応急手当と健康管理の講習&山田山林道の笹刈 参加者 9名
午前中は「弁華別協働の森」主催の安全講習があり、当別消防署の職員より救命処置の手順について学びました。講師の実技演習の後



実際に一人一人がAEDを使用した救急対応を行いました。

実際の場面で機敏に動けるように手順を忘れないように心がけましょう。昼食をはさんで午後からは山田山林の車道の笹刈を1時間ほど行いました。継続的に整備を続けていく予定です。



6月9日(日) コープ未来の森づくり 植樹祭 参加者 8名 天候 曇り
道民の森にてコープ植樹祭の一般参加者250名の植樹、育樹のサポートを行いました。参加者は4班に分かれ「Fの森」にて23種類、合計1010本の苗を植えました。参加者には子供たちも大勢おりワイワイと



楽しみながら手分けして植える事が出来ました。

私たちは運ぶ、穴を掘る、などのお手伝いをしました。

午後は育樹祭で下草取りと子供たちの根っこビジュアルコンテストを開催し終了しました。



6月16日(日) 山田山林にて倒木処理&炭材と燃材の切り出し 参加者 9名
山田氏の指示の下で倒木の処理を行いました。倒木は決められた寸法を測りチェーンソーで玉切りを行い、枝打ちをして所定の材置き場に積み重ねました。炭材と燃材の切り出しは行いませんでした。

6月30日(日) どん亀さん記念当別22世紀の森の協働作業 参加者 9名
新山川草木とウディーズとの協働作業。



昨年同様に作業道の草刈を行いました。

7名で効率よく刈ることが出来て早目の時間で終了しました。昼食は準備して頂いたバーベキューを美味しく頂きました。

別部隊2名で山田氏と共に山田山林の倒木処理作業を手伝いました。



編集者より 7月になりました。今年の夏の暑さはどうなのでしょう。夏野菜の成長やいかに？今年の家が家はすべてにおいて休息の年にしています。移住10年目を迎える前に一休みです。連絡事項・刈払い機等の傷害保険証書の一部コピーと弁華別協働の森通信を同封します。

リレーコラム

樹名板について

葛西 重幸

ψ **寿命** ψ 8年ほど前に、講習会で習いそれを掲示したものが今も公園に残っていた。板にバーニングペン（半田ごてのようなもの）で焦がして樹名を書いたもので、前回、3年ほど前に見に行った時すでに、板も焦げた部分も灰色に風化して、焼かれた凹みでなんとか読める状態になっていた。別の公園ではバーニングペンで書いた上をラッカーで表面を保護しているが、3年ほどで取り換えているらしい。手作りは短期間で見づらくなるためか既製品が目につくようになってきた。たしか10年間保証と読んだことがある。

ψ **文字** ψ 樹名板の講習会の講師は、障害者団体の関係者ということで、見やすく作ることは障害の有無にかかわらず多くの人に利用しやすいと習った。樹名板に限らずお知らせなどの掲示物、通常書類作る際も、書体は〔明朝体〕などより〔丸ゴシック体〕が見やすい。この書体は市販されているユニバーサルデザイン用書体の代わりに使われているとのこと。



シラカンバ 〔明朝体〕

シラカンバ 〔丸ゴシック体〕

ψ **取付法** ψ 樹木に直接、釘で樹名板を取り付けているところがある。生育への影響はほとんどないとのこと。前述の8年前の樹名板はスプリングで取り付けたのが、この度はどのように取り付けられているのかも判らない見たことのないコードに替わっていた。耐用年数もありそうであった。とうにスクラップされていても良いような樹名板なのに。プラスチックや塗料を使っていないエコな樹名板には、園芸用品売り場にあるシュロ縄を使いたい。有機物だが3年ぐらいいは役割を果たすように思う。



切れたら樹名板とともに地表に落ちて土にかえる。撤去のコストは不要。

7月の活動案内

安全作業に 努めましょう

7月7日(日)

内容 里山づくり 植栽地の下草刈りと苗畑（林間苗圃）の草取り レジユメを参照の事
集合場所 山田倉庫前 集合時間 8:45 集合後に協働の森入口に移動します
持ち物 山道具・刈払い機・手がま・軍手・長靴・弁当・飲み物
弁当を食べながら炭焼きの予定などの話をしましょう

7月20日(土)

内容 山田山林にて倒木処理・笹刈り 終了後に炭窯づくり兼炭焼き交流会
集合場所と時間 山田氏倉庫前 9:00 作業場所 山田山林&岡田畑地
持ち物 刈払い機・軍手・長靴・スコップ・チェーンソー・弁当・飲み物

7月27日(土)~7月28日(日)

内容 炭焼き&炭焼き交流会 集合場所・時間 岡田家庭に9:30

※例年通りの流れです 宿泊される方は泊まれる準備をお願いします。昼夜朝とも用意します。
燃材になる木材などあれば持参してください。夜のアルコールも出来れば持参してください。

木に触れて
林で遊び
森と育つ